

製品名: CD182 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82167**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:100-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	40.8kDa

抗原情報

遺伝子名	CD182
別名	CXCR2; IL8R2; IL8RA; IL8RB; CMKAR2; CDw128b
遺伝子 ID	3579.0
SwissProt ID	P25025
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD182 の精製された組み換え断片。

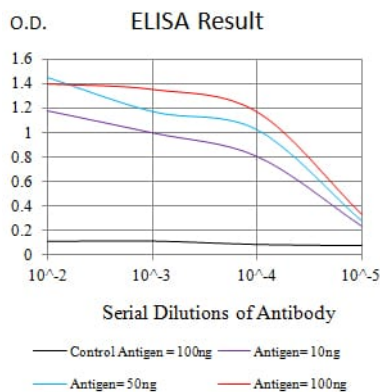
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体ファミリーのメンバーです。このタンパク質はインターロイキン 8 (IL8) の受容体です。IL8 に高親和性で結合し、G タンパク質活性化セカンドメッセンジャーシステムを介してシグナルを伝

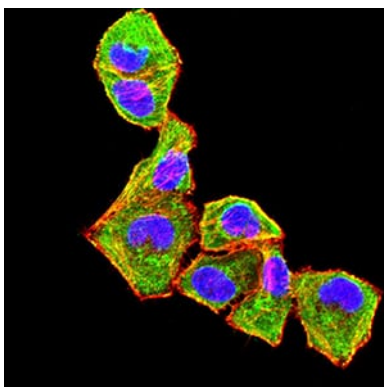
達します。この受容体は、メラノーマ増殖刺激性を持つタンパク質であるケモカイン（C-X-Cモチーフ）リガンド1（CXCL1/MGSA）にも結合し、血清依存性メラノーマ細胞の増殖に必要な主要成分であることが示されています。この受容体は、炎症部位への好中球遊走を媒介します。腸管微小血管内皮細胞におけるIL8の血管新生効果は、この受容体を介していることが分かっています。マウスを用いたノックアウト研究では、この受容体が発達中の脊髄におけるオリゴデンドロサイト前駆細胞の移動を停止させることで、その配置を制御していることが示唆されています。この遺伝子、すなわち別の高親和性IL8受容体をコードするIL8RAは、IL8RBの擬似遺伝子であるIL8RBPとともに、染色体2q33-q36にマッピングされた領域に遺伝子クラスターを形成しています。同じタンパク質をコードする選択的スプライシングバリエーションが同定されています。

研究分野

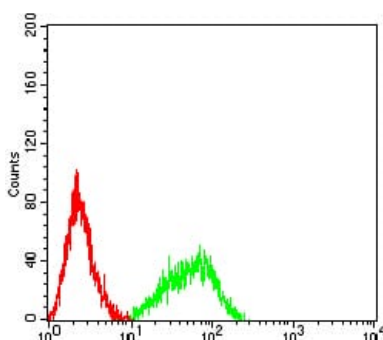
画像データ



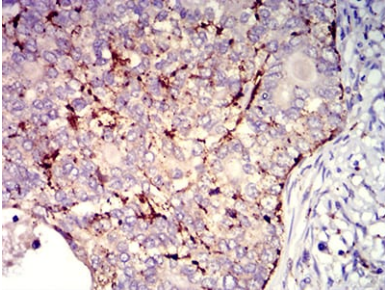
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD182 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CD182 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CD182 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。